

主な出来事

【内政】

- ガボン独立記念日におけるボンゴ大統領演説

【外政】

- ボンゴ大統領とニヤシンベ・トーゴ大統領の会談

【経済】

- 台湾発のチーク材の積荷がオウエンド港に到着
- マユンバ沖合の石油開発でガボン政府に372億セーファの利益が発生する見込み

【内政】

1 国民議会補欠選挙の実施

10日に国民議会補欠選挙第一回投票が実施され、10選挙区の内、6選挙区において当選者が決定した。また、22日、同選挙で過半数を獲得した候補者がいなかった4選挙区において、同第二回投票が実施された。（10日付UN等）

2 ガボン独立記念日におけるボンゴ大統領演説

17日、ボンゴ大統領は第59回ガボン独立記念日式典において、財政健全化・教育システムに関する改革、民間セクターでの雇用創設等に関する演説を行った。（19日付UN）

【外政】

1 ボンゴ大統領とニヤシンベ・トーゴ大統領の会談

9日、ボンゴ大統領は、ニヤシンベ・トーゴ大統領のガボンへの実務かつ友好訪問の機会に同大統領と会談を行った。両大統領は、同会談で両国間の政策協議、ECOWAS内の治安問題等について協議した。（10日付UN）

【経済】

1 台湾発のチーク材の積荷がオウエンド港に到着

9日、台湾（台北）発のチーク材を載せた積荷がオウエンド港で受領された。23m³のチーク材は、とりわけGBNS社によってガボンで加工される予定。（10日付GR）

2 PK12 - PK105間の道路改修工事契約解除を受け、中国企業がガボン政府に賠償金を請求

ガボン政府が中国企業（CSCEC）とのPK12 - PK105間の道路改修工事契約を解除したことを受けて、20日、同社はガボン政府に賠償金を請求した。（26日付GR）

3 マユンバ沖合の石油開発でガボン政府に372億セーファの利益が発生する見込み

8月上旬にガボン政府とペトロナス（Petronas）社間でマユンバ沖合のF12区及びF

13区の石油開発に関する契約が署名された。ガボン政府は右石油開発により372億セーファの利益を得る見込み。(28日付GR)

4 中国によるバイオエタノール生産工場建設計画

26日、中国のビジネスマンがバイオエタノール生産工場の建設計画に関し、オタンド投資促進大臣及びマガンガ・ムサヴ農業大臣と会談した。ガボン政府は、キャッサバ芋からバイオエタノールを生産する工場建設用地として8万3千ヘクタールの土地を用意する。また、本件によって7千の雇用が創出される予定。(28日付UN)

5 トタル・ガボンの本年第2四半期の総売上高が前年比49%増を記録

トタル・ガボンの本年第2四半期の総売上高が、石油販売量の増加を受け、前年同時期比で49%増の1,400億セーファを記録した。(31日付UN)

出典:PR(大統領府公式HP),UN(ユニオン紙),GM(ガボン・マタン紙),GN(ガボン・ニュース電子版ニュース),AFP,GA(Gabonactu.com),GR(ガボン・レビュー電子版ニュース),LG(ル・ガボン電子版ニュース),GE(ガボン・エコ電子版ニュース),AFP(フランス通信社),GL(ガボンリーブル電子版ニュース),AFI(アフリカ・エネルギー・インテリジェンス),LP(LOUP紙),EN(エコー・ノール紙),GMT(ガボンメディアタイム),GI(ガボンインフォズ)